



下里中だより

令和 6年 5月20日
東久留米市立下里中学校

教育目標 ・知性を高めよう ・心身を鍛えよう ・広く思いやろう

プラスの言葉で乗り切ろう

校長 藤井 和重

日本にはさまざまな固有の文化がありますが、その中でも「日本語」は世界の言語と比較すると特徴的で、習得が難しいとされています。それは漢字と平仮名が組み合わさるだけでなく、敬語や方言があるなど、日本人でも難しいと感じることはよくあることです。

こうした理由で、習得が難しいと言われる日本語ですが、美しい響きや他の言語には訳せないような独特の表現があることも事実で、時には聞いているだけで心が澄んだり、どこか想いを馳せてしまったりするような言葉に出会うことがあります。

特に昔からの「言い伝え」や「ことわざ」には、自然の豊かさや人間のさまざまな感情を粹に表した言葉が数多く存在しています。言葉と言葉をつなげる時には、少し立ち止まって古くから伝わる言葉を調べてみたり、実際に使ったりすると、日本語の奥深さを感じることができます。

さて、このような美しい日本語を話す私たちですが、自分自身が使う時には、ポジティブな言葉とネガティブな言葉のどちらが多いでしょうか。『疲れた』『めんどくさい』『だるい…』さらには、友達や家族に対する愚痴やマイナスな言葉。そのような言葉が多くなってきたら注意が必要です。

言葉は心を映す鏡です。人は心に余裕がなくなってくると使う言葉にも現れてきて、疲れている時に言葉が雑になってしまうことは、誰にでもよくあることだと思います。ゴールデンウィークが明けても気持ちの切り替えがうまくできずに集中力の欠如のままであることを5月病と呼ぶことがあります。この時の特徴が前出のネガティブな言葉の発声です。言葉が乱れている時は、それにつられるように心も乱れてきて、授業にも集中できなくなってきます。そういう時は、どこかでその悪循環を断たなくてははいけません。

では何から改善していくかという、最初は心の乱れを直すよりも、言葉の乱れを直す方が楽だと思います。まず、ネガティブな言葉、マイナスな言葉を使わないように心がけましょう。『疲れた』『めんどくさい』『だるい…』といった言葉は使わないように意識をしてください。こういう言葉を表に出せば、心がスッとするのは分かります。でも、それを口にすることで、その言葉の力が自身をよりネガティブな方向へと導いて行ってしまいます。導かれないためには、思っただけで口に出さず、むしろ逆にプラスの言葉を口にしてみましょう。『楽しい』『おもしろい』『もうちょっとやってみようかな』など、プラスの言葉を口にすることがポイントです。そうすれば言葉の力が今度はポジティブな方向へと導いてくれます。心が乱れていると感じたら、言葉の力を借りて早く乱れを正せる方法をぜひ習得してください。



～生徒総会～ 下里中の自治活動をさらに盛り上げ発展させます

5月11日(土)に令和6年度前期生徒総会を行いました。生徒会長、各学年学級委員長、各専門委員会委員長より前年度後期反省及び前期活動方針案についての説明がありました。発表者そしてそれを聞いている生徒もしっかりとした態度での参加でした。これからの生徒会活動が楽しみです。各委員会の前期活動目標をお伝えします。

- ☆生徒会役員会 積極的に関わりを持ち、元気に挨拶ができる学校を目指す
- ☆3年学級委員会
 - ・最上級生としての自覚をもち、何事にも全力で取り組む
 - ・一つ一つの行動に責任をもち、学校を引っ張っていく存在になる
- ☆2年学級委員会
 - ・自分で考えて行動できる学年をつくる
 - ・生徒の模範となるように目指す
- ☆1年学級委員会
 - ・時間を守り、スムーズに授業を始めることができる学年にする
- ☆生活委員会
 - ・公明正大 ー嘘偽りなく全校生徒の模範となれるようにするー
- ☆保健委員会
 - ・呼びかけを増やして全校生徒が健康で清潔な学校生活をおくれるようにしよう
- ☆整美委員会
 - ・全校生徒の美化意識向上を目標に責任ある行動をする
- ☆広報委員会
 - ・一人一人が自分の役割を意識し、時間を守ってしっかり仕事を行う
- ☆体育委員会
 - ・リーダーシップをとり授業や行事で積極的に仕事を全うする
- ☆図書委員会
 - ・図書室の利用者を増やすため、効果的なイベントを考える
- ☆選挙管理委員会
 - ・無効票0で正確な選挙を目指し、立候補者を全力でサポートする



～5月11日(土) 学校公開日～

多くの方の参観ありがとうございました。参観後の保護者アンケート(抜粋)を掲載します。

- ・グループ活動が見られておもしろかったです。
- ・廊下に掲示されている職業調査の課題について大変良い取組だなと思いました。様々な職業を知り、自分の将来の夢を思い描くのはとても良い経験につながると感じます。
- ・普段見られない子どもたちの姿が見られる機会はとても貴重だと思いました。

～5月15日(水) 小中連携の日～

令和6年度第1回小中連携の日を行いました。「小中連携の日」は、中学校区にある小学校教員と中学校教員で互いの授業見学やテーマに沿った意見交換をする日であり、今回は下里中学校に第七・第十小学校の先生方が来校し授業見学や意見交換を行いました。卒業させた生徒が授業等で頑張っている姿を見て、とても喜んでいる小学校の先生も見受けられました。



～下中生の活躍～

卓球部 東久留米市民大会 中学卓球の部 優勝 Sさん(2年) 準優勝 Nさん(2年)
第3位 Tさん(2年)・Tさん(2年)

☆お知らせ☆

4月教育活動説明会でご説明させていただきましたが、今年度より、定期考査後に配布します「ステップアップ」及び各学期に発行します「通知表」の様式をそれぞれ変更しますので、予めご了承ください。